

# 模擬試験 問題 <3級>

## 第1問 (20点)

下記の取引について仕訳して下さい。ただし、勘定科目は、次の勘定科目を参考にして下さい。

現金 小口現金 現金過不足 当座預金 普通預金 受取手形 売掛金 前払金  
貸付金 手形貸付金 未収入金 仮払金 未収利息 未収手数料 前払費用  
繰越商品 建物 備品 土地

支払手形 買掛金 未払金 前受収益 仮受金 商品券 社会保険料預り金  
所得税預り金 借入金 手形借入金 貸倒引当金 建物減価償却累計額  
車両減価償却累計額 備品減価償却累計額 資本金

売上 受取利息 受取手数料 固定資産売却益 償却債権取立益 雑益

仕入 給料 広告宣伝費 旅費交通費 水道光熱費 保険料 通信費 消耗品費  
発送費 租税公課 支払地代 貸倒損失 修繕費 支払利息 支払手数料  
貸倒引当金繰入 減価償却費 雑損 固定資産売却損 損益

1. 銀行より¥2,000,000を借り入れ、同額の約束手形を振り出し、利息¥100,000を差し引かれた残額が普通預金口座に振り込まれた。
2. 出店用の土地100㎡を1㎡あたり¥50,000で購入し、購入手数料¥150,000を含む代金の全額を後日支払うこととした。また、この土地の整地費用¥100,000を現金で支払った。
3. 金庫を実査したところ、硬貨¥10,000、紙幣¥10,000、得意先振り出しの小切手¥10,000、送金小切手¥10,000、郵便為替証書¥10,000、約束手形¥10,000、郵便切手¥10,000、収入印紙¥10,000が保管されていたが、現金出納帳の残高は¥40,000であった。不一致の原因を調べたが原因は判明しなかったので、現金過不足勘定で処理することにした。
4. 昨年7月5日に購入した備品(取得原価¥1,200,000、残存価額ゼロ、耐用年数10年、定額法で計算、間接法で記帳)が不要になったので、本日(6月20日)¥1,200,000で売却し、代金は翌月末に受け取ることにした。なお、決算日は12月31日とし、減価償却費は月割りで計算する。
5. 決算にあたり、売掛金と受取手形の期末残高合計額¥2,000,000に対して1%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。なお、決算整理前の貸倒引当金残高は¥15,000である。

## 第2問 (10点)

以下の[資料1]と[資料2]にもとづいて、[問]に答えてください。

[資料1] 令和元年5月1日現在の売掛金に関する状況

1. 総勘定元帳における売掛金勘定の残高は¥400,000である。
2. 当社の得意先は代官山商店と下北沢商店だけである。
3. 売掛金元帳（得意先元帳）における代官山商店に対する売掛金の残高は¥250,000である。

[資料2] 令和元年5月中の取引

2日 吉祥寺商店から商品¥200,000を仕入れ、代金は掛とした。なお、当店負担の引取運賃¥3,000は現金で支払った。

10日 代官山商店に商品¥80,000を売り上げ、代金は掛とした。

15日 下北沢商店に対する売掛金¥60,000が当座預金口座に振り込まれた。

20日 下北沢商店に商品¥70,000を売り上げ、代金は掛とした。

25日 下北沢商店に対し20日に売り上げた商品のうち¥20,000が返品され、掛代金から差し引くこととした。

30日 代官山商店に対する売掛金¥40,000が当座預金口座に振り込まれた。

[問]

1. 5月の各取引はそれぞれどの補助簿に記入されるでしょうか？記入される補助簿に○印を付してください。
2. 5月中の純売上高はいくらですか？
3. 5月末における代官山商店に対する売掛金の残高はいくらですか？
4. 5月末における下北沢商店に対する売掛金の残高はいくらですか？
5. 5月末における総勘定元帳における売掛金勘定の残高はいくらですか？

### 第3問 (30点)

答案用紙の残高試算表の月初残高と、[令和元年5月中の取引] にもとづいて、[令和元年5月31日の残高試算表] を完成してください。なお、以下の取引は重複しています。

重複取引：(1) a と (3) a、(1) b と (2) b、(1) d と (4) a

令和元年5月中の取引

#### (1) 現金に関する事項

a. 売上代金の受取り	¥	400,000
b. 普通預金口座からの引出し	¥	300,000
c. 前月旅費仮払い¥30,000のうち残金の受取り	¥	5,000
d. 仕入代金の支払い	¥	220,000
e. 商品発注にともなう手付金の支払い	¥	200,000

#### (2) 普通預金に関する事項

a. 掛代金の回収	¥	1,200,000
b. 現金の引出し	¥	300,000
c. 諸費用の支払い		
通信費	¥	20,000
水道光熱費	¥	15,000
支払家賃	¥	100,000
d. 掛代金の支払い	¥	1,000,000
e. 給料の支払い	¥	475,000
(所得税の源泉徴収額 ¥25,000の控除後)		
f. 借入金の元利合計の支払い	¥	102,400
(このうち利息額は¥2,400)		
g. 所得税の源泉徴収額の支払い	¥	20,000
h. 未払金の支払い	¥	1,300,000

(3) 売上に関する事項

a. 現金売上	¥	400,000
b. 掛売上	¥	1,400,000
c. 掛売上戻り	¥	20,000
	¥	

(4) 仕入れに関する事項

a. 現金仕入	¥	220,000
b. 掛仕入	¥	800,000
c. 手付金の充当による仕入	¥	230,000

(5) その他の事項

a. 前期に発生した売掛金の貸倒れ	¥	100,000
b. 備品の購入（代金翌月払い）	¥	500,000

#### 第4問 (10点)

次の各取引の伝票記入について空欄に語句または金額を入れてください。

なお、当社では3伝票制を採用しており、商品売買取引の処理は3分法により行っています。

(1) 商品を¥500,000で売り上げ、代金は掛けとした。また、顧客負担の送料¥1,500を現金で支払い、掛代金に含める記録を行った。

( ① ) 伝票	
勘定科目	金額
( ② )	( ③ )

振替伝票			
借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
( ④ )	( ⑤ )	( ⑥ )	( )

(2) 商品を¥300,000で仕入れ、代金のうち¥200,000を現金で支払い、残額は掛けとした。

( ⑦ ) 伝票	
勘定科目	金額
買掛金	( ⑧ )

振替伝票			
借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
( ⑨ )	( ⑩ )	( ⑥ )	( )

## 第5問 (30点)

以下の決算整理前残高試算表と決算整理事項等にもとづいて、貸借対照表と損益計算書を完成してください。

なお、会計期間は平成30年1月1日から平成30年12月31日までの1年間とします。

### (1) 決算整理前残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
100,000	現 金	
3,000	現金過不足	
500,000	普通預金	
400,000	売掛金	
120,000	仮払金	
300,000	繰越商品	
1,000,000	備 品	
9,000,000	土 地	
	買掛金	815,000
	借入金	1,000,000
	貸倒引当金	10,000
	減価償却累計額	100,000
	資本金	8,000,000
	売 上	5,000,000
	受取手数料	360,000
2,000,000	仕 入	
1,500,000	給 料	
250,000	通 信 費	
100,000	支払家賃	
12,000	保 険 料	
15,285,000		15,285,000

## (2) 決算整理事項等

1. 現金過不足 ¥3,000のうち ¥2,000は通信費の記入漏れであった。残額は不明のため適切に処理した。
2. 得意先から商品の内金 ¥100,000を現金で受け取っていたが、これを売上として処理していたので、適切に修正する。
3. 仮払金 ¥120,000は、その全額が9月1日に購入した備品に対する支払であることが判明した。
4. 売掛金の期末残高に対して3%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
5. 期末商品棚卸高は ¥200,000である。
6. 備品について、残額価額をゼロ、耐用年数を10年とする定額法により減価償却を行う。当期新たに取得した備品についても同様の条件で減価償却費を月割りにより計算する。
7. 家賃の前払額が ¥20,000ある。
8. 受取手数料のうち ¥240,000（月額 ¥20,000）は、5月1日に、向こう1年間の手数料を受け取ったものである。
9. 借入金 は平成30年6月1日に借入期間1年、年利率2.4%で借り入れたもので、利息は元金とともに返済時に支払うことになっている。利息の計算は月割りによる。

# 模擬試験 答案用紙 <3級>

## 第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				



第2問 (10点)

1

	現金 出納帳	当座預金 出納帳	商品 有高帳	売掛金 (得意先) 元帳	買掛金 (仕入先) 元帳	仕入帳	売上帳
2日							
10日							
15日							
20日							
25日							
30日							

2	¥
3	¥
4	¥
5	¥

第3問 (30点)

残高試算表

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
5月末残高	月初残高		月初残高	5月末残高
	2,200,000	現 金		
	5,000,000	普 通 預 金		
	1,500,000	売 掛 金		
		貸倒引当金	90,000	
	500,000	繰 越 商 品		
	250,000	前 払 金		
	50,000	仮 払 金		
	2,000,000	備 品		
		減価償却累計額	500,000	
		買 掛 金	800,000	
		借 入 金	1,000,000	
		未 払 金	1,900,000	
		所得税預り金	100,000	
		資 本 金	20,000,000	
		売 上	1,500,000	
	9,000,000	仕 入		
	4,000,000	給 料		
	300,000	旅費交通費		
		( )		
	90,000	通 信 費		
	160,000	水道光熱費		
	800,000	支 払 家 賃		
	40,000	支 払 利 息		
	25,890,000		25,890,000	

第4問 (10点)

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

第5問 (30点)

貸借対照表

平成30年12月31日

現金	( )	買掛金	( )
普通預金	( )	借入金	( )
売掛金	( )	( )	( )
貸倒引当金	( △ )	未払費用	( )
商品	( )	前受収益	( )
( )費用	( )	資本金	( )
備品	( )	当期純( )	( )
減価償却累計額	( △ )		
土地	( )		
	( )		( )

損益計算書

平成30年1月1日から平成30年12月31日まで

売上原価	( )	売上高	( )
給料	( )	受取手数料	( )
貸倒引当金繰入	( )		
減価償却費	( )		
通信費	( )		
支払家賃	( )		
保険料	( )		
雑( )	( )		
支払利息	( )		
当期純( )	( )		
	( )		( )